

第6回 仕事はどんなことにつくのが幸せですか？

これまで2回にわたって好きな事とそれからやるべき事と言う事について話をしてきました。今回はこの2つの話をまとめて1つのことを話したいと思います。地球上の多くの人々は仕事を持っています。その仕事はそれぞれの人にとって楽しんでやれているものか、あるいは嫌で嫌で仕方がないものかと言うことで、その人の一生の幸せが決まることがあると考えています。

こんなことを考え始めたのは、2000年頃だったような気がします。当時、慶応大学の主に、大学院の学生の就職と言うことを考えていました。この学生たちにとってどんな仕事を見つけるのが幸せなんだろうっていうことが、その中これを考え始めたきっかけでした。

そして、たどりついた答えがやりたいこと、やるべきことやっていることを一致させることが人生の幸せと言うことでした。やりたいことと言うのは好きな事と同じ意味を持っています。やるべき事については、他人の望むことを仕事にすると言う事と同じ意味だと考えています。そして、やっている事と言うのは仕事のことです。好きなことで社会が求めていることが一致したことを仕事にできることが1番幸せではないかと考えてきました。

やりたいこと、やるべきこと やってることの一致になります。

今、モビリティ大学の受験生や学生にも同じように考えてほしいと思っています。

私の好きな事は明確に車でした。しかし、車や自動運転は非常に広い分野です。モビリティ大学で教えることの基本になっていることも、電池の事、モーターや制御装置の事、車体の事、そして自動運転に関連する情報のことです。また電気自動車に関連する車と言うのは電池のみを使って走る車と水素を使う車、ハイブリッド車等も含まれます。それから自動運転も多く場合があります。行き先をナビに入れたら自動的に目的地まで行ってくれる車は理想的ですが、そこまで一気にいかなかったとしても、車の知能化ということは大きな仕事の内容になります。今、始まっているのは、前方に車がいる時、音で知らせてくれて、最後は自動的にブレーキがかかる技術などです。こう考えるとモビリティ大学の入学者の選べる分野はとても広いことになります。もちろん理科系の分野だけが自動車に関係しているわけではありません。デザインもあります。ビジネスと言うこともあります。車の使い方も大きな分野です。これらも含めて自動車です。すると、そのどれかが好きだと思える受験生あるいは学生がとても多いことになると思います。

やるべき事は比較的はっきりしています。環境にやさしい事で、エネルギー消費が少ないこと、事故が起こらない事に集約されます。そしてそのどれかに興味があればやりたいことと、やるべき事については広い選択ができます。

今、日本で自動車関係の仕事に関わっている人々は、人口の約1割と言われていきます。おそらく日本で最大の産業です。このことから広い分野仕事を選ぶことができます。

できることはうなずけると思います。

モビリティ大学でやれる、この広い選択肢をぜひ注目して欲しいなと思っています。
それに答えられる教育と研究は十分にすることができる準備はできています。



1997年に作ったルシオール

前後方向での2人乗り電気自動車

今、モビリティ大学で、もう一度走れるようにするための、改修をしています